

# Cisco Firepower 8000 シリーズ デバイスでのスタック設定

## 目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[サポートされるデバイス](#)

[登録チェックリスト](#)

[使用するコンポーネント](#)

[設定手順](#)

[確認](#)

[Cisco サポート コミュニティ - 特集対話](#)

## 概要

ネットワークセグメントで点検される設定トラフィック量を 8000 シリーズ機器のスタックによって増加し、単一で結合されたリソースを、共有されて使用、できます。この文書に Firepower 8000 シリーズ機器のスタックを設定する方法を記述されています。

スタック配備では、ネットワークセグメントに接続されるプライマリデバイスとしてデバイスの 1 つはすべてのその他のデバイスがセカンダリデバイスとして指定され、プライマリデバイスに追加情報を提供するために配置されるか、指定されます。

## 前提条件

### 要件

スタックのデバイスすべてを確かめて下さい...

- スタッキング ケーブルをスタッキング モジュールに物理的に接続して下さい  
ヒント： ケーブルをスタックすることを持たない場合、それを発注するのに PID `FP-NMSB-CABLE` を使用して下さい。モジュールのスタッキングを発注する必要があるら同様にモジュールをスタックするために PID として `FP8000-STACK-MOD` を使用して下さい。
- 同じハードウェアを持って下さい
- 同じソフトウェア バージョンを持って下さい
- 同じアクセス制御ポリシーおよび NAT ポリシーを持って下さい (もしあれば)
- 同じライセンスを持って下さい

注: 8360 のようなハイ エンド デバイス モデルの場合には、スタックが形成された後適用する 1 つのライセンスだけあるかもしれません。スタックされるべき個々のデバイスはライセンスが不要かもしれません。デバイスがスタックされた後、ライセンス ページは Devices セクションよりもむしろスタック セクションの下で提示されます。

## サポートされるデバイス

次の図はスタックを構築するのに使用できる Firepower デバイスの支持モデルを要約します。各モデルの[詳細仕様およびスループット](#)を学ぶために、関連データ データ用紙を読んで下さい。

製品ファミリ	支持モデル	プライマリデバイス	セカンダリデバイス	総ラックマウント単位
81xx ファミリー	8140	単一	8140 はスタックを構成しません	1U
	8140*	プライマリ 1	8140、セカンダリ 1	2U
	8250	単一	8250 はスタックを構成しません	2U
82xx ファミリー	8260	プライマリ 1	8250、セカンダリ 1	4U
	8270	プライマリ 1	8250、セカンダリ 2	6U
	8290	プライマリ 1	8250、セカンダリ 3	8U
	8350	単一	8350 はスタックを構成しません	2U
83xx ファミリー	8360	プライマリ 1	8350、セカンダリ 1	4U
	8370	プライマリ 1	8350、セカンダリ 2	6U
	8390	プライマリ 1	8350、セカンダリ 3	8U

\* 8140 モデル デバイスのシャーシは 8120 および 8130 のモデルのシャーシと同一です。ただし、スタッキング機能は 8140 年の型でだけ利用できます。82xx および 83xx ファミリーとは違って、型番は 2 つの 8140 のデバイスのスタックのために変わりません。

## 登録チェックリスト

- デバイスをスタックするために、すべては FireSIGHT Management Center に登録している必要があります。この要件が満たされない場合、管理センターはスタックするべきデバイスが十分ないことを示すエラーメッセージと共にスタックのデバイスを追加することを可能にしません。



たとえば、3 つの 8370 のデバイスをスタックしたいと思えば管理センターにプライマリデバイス、また他の 2 つのセカンダリデバイスを登録する必要があります。

- スタック メンバー全員は別々の管理 IP アドレスで設定される必要があります。

## 使用するコンポーネント

この文書に記載されている情報は以下の製品を利用します:

- FireSIGHT Management Center バーチャル アプライアンス ( 5.4.1.2 ) ソフトウェア バージョン
- 2 Firepower 8140 のデバイス ( 両方ともバージョンを 5.4.0.3 ) 実行しています
- ケーブルのスタック

• スタックしますネットワークモジュール ( NetMod ) を  
スタッキング ネットワークモジュールが利用できれば、下記にとして管理センターのユーザインターフェイスで表示されます:



本書の情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、初期 ( デフォルト ) 設定の状態から起動しています。稼働中のネットワークで作業を行う場合、コマンドの影響について十分に理解したうえで作業してください。

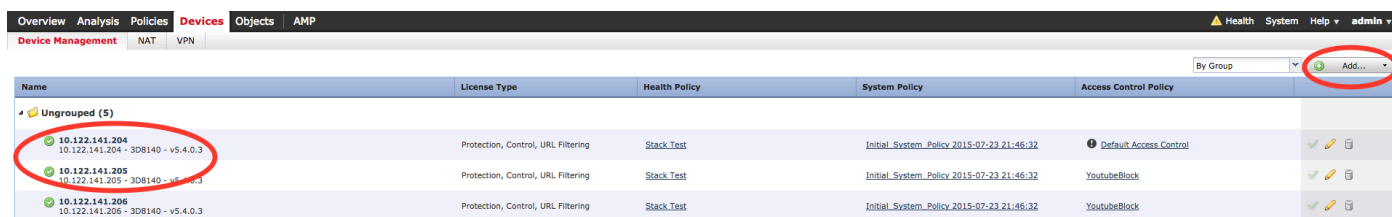
## 設定手順

[必要条件](#)が満たされたら、スタックを確立するのに FireSIGHT Management Center を使用して下さい。スタックを設定するために下記のステップに従って下さい:

**ステップ 1.** FireSIGHT Management Center へのログオン。デバイス > デバイス管理へのナビゲート。このページでは、たいと思うスタックしデバイスに同じライセンス、OS バージョンおよびアクセス制御ポリシーがあればどうか確認できます。

**注:** 両方のデバイスのシステム ポリシーおよび健康政策を同じ保存することは必須ではありませんがすべての応用ポリシーが同一であることを確かめることは賢明です。スタックのデバイスすべては適用される同じアクセス制御ポリシーがあるはずです。

**ステップ 2:** 右上隅で、廃棄リストから『Add』を選択すれば。スタック > プライマリデバイスを『Add』を選択して下さい。



**ステップ 3.**スタックの名前を追加して下さい。少なくとも 1 人のセカンダリ スタック メンバーはうまくスタックを設定する必要があります。セカンダリ スタック メンバーを追加するために、『Add』を選択して下さい。

## Add Stack

? X

Primary:

Name:

Secondaries:

Primary Slot	Secondary	Secondary Slot
--------------	-----------	----------------

At least one secondary connection is required.

Stack


Cancel

ステップ4 『Add』 をクリック すれば、次のページは提示されます。 利用可能なセカンダリデバイスの1つを選択して下さい。

## Add Secondary Connection

? X

Primary Device Front View



Slot on Primary Device:

Secondary Device:

Slot on Secondary Device:

Add

Cancel

Slot on Primary Device:

Secondary Device:

Slot on Secondary Device:

ステップ5.物理的にケーブル接続されるようにスタックケーブルを適切に選択して下さい。

Slot on Primary Device: s2c1/s2c2

Secondary Device: s2c1/s2c2

Slot on Secondary Device: s3c1/s3c2

**ステップ 6** 上記のステップを完了した後、次のページは提示される必要があります。スタックボタンをクリックして下さい。

## Add Stack

? X

Primary: 10.122.141.205

Name: BLR-Stack

Secondaries: + Add

Primary Slot	Secondary	Secondary Slot	
s2c1/s2c2	10.122.141.204	s2c1/s2c2	

Stack Cancel

スタックのデバイスのアクセス制御ポリシーにミスマッチがある場合、次のエラーメッセージが表示されます:

## Error



The secondary members of an HA configuration must have the same Access Control policies as the primary. The following devices have different policy: 8140a.cisco.com

OK

前提条件すべてが満たされ、上記の[ステップ](#)に従えば場合、経過表示バーは表示されます。

# Please Wait...

Adding stack...



プロセスが完了した、スタックは確立されます。スタックがうまく確立された後、スタック ステータスメッセージはステータスを確認します。

## Stack status



Established stack 'BLR-Stack'

OK

## 確認

1. [Device] > [Device Management] に移動します。管理対象装置のリストは現われます。

BLR-Stack 308140 Stack					
10.122.141.204 10.122.141.204 - 308140 - v5.4.0.3	Protection, Control, URL Filtering	Stack_Test	Initial_System_Policy_2015-07-23_21:46:32	Default Access Control	
10.122.141.205(primary) 10.122.141.205 - 308140 - v5.4.0.3	Protection, Control, URL Filtering	Stack_Test	Initial_System_Policy_2015-07-23_21:46:32	Default Access Control	

2. 新興スタックを確認して下さい。スタック タブをクリックして下さい。スタック ページはスタックについてのさまざまな情報を示します。

General

Name:	BLR-Stack
Status:	<span>✔</span>
Primary Device:	10.122.141.205

License

Protection:
Control:
Malware:
URL Filtering:
VPN:

System

Policy:	<a href="#">Initial System Policy 2015-07-23 21:46:32</a>
---------	---

Health

Policy:
---------

Advanced

Application Bypass:	Yes
Bypass Threshold:	3000 ms
Inspect Local Router Traffic:	No
Fast-Path Rules:	None

3. スタック ページでは、スタックのライセンスを表示できません。

注: スタックのためのライセンスはスタック タブの下でイネーブルになっています。ただし、あらゆる個々のデバイスのライセンスをイネーブルにするために、Devices ページを使用して下さい。

任意であらゆるスタック メンバーで変更を行ないたいと思ったら『Device』を選択廃棄メニューを使用してページの右上からデバイスを、選択して下さい。

Stack Devices Interfaces Inline Sets Virtual Switches Virtual Routers

Select Device: 10.122.141.205  
10.122.141.205  
10.122.141.204

General

Name:	10.122.141.205
Transfer Packets:	Yes

Health

Status:	<span>✔</span>
Blacklist:	None

Advanced

Application Bypass:	Yes
Bypass Threshold:	3000 ms
Inspect Local Router Traffic:	No
Fast-Path Rules:	None

System

Model:	3D8140
Serial:	14031100500009-1-C
Time:	2015-09-14 10:23:32
Version:	5.4.0.3

Management

Host:	10.122.141.205
Status:	<span>✔</span>